機能ID	機能名称			機能要件	実装区分			適合基準日
	大分類	中分類	小分類		指定都市	中核市	一般市区町村	
0010088	2　検索・照会・操作	2.1　検索	2.1.3　基本検索	個人や世帯を検索、選択後、該当者の1.1.1（日本人住民データの管理）及び1.1.2（外国人住民のデータの管理）のデータをCSV形式で出力する機能を備えること。	○	○	○	―
0010089	2　検索・照会・操作	2.1　検索	2.1.3　基本検索	異動者一覧を表示している状態で、検索条件を加えての再検索（絞込み）ができること。	×	×	×	―
0010090	2　検索・照会・操作	2.2　照会	2.2.1　異動履歴照会	個人や世帯を特定した後に、1.2.1（異動履歴の管理）に規定する住民の異動履歴並びに通称の記載及び削除に関する事項を照会できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010091	2　検索・照会・操作	2.2　照会	2.2.1　異動履歴照会	1.2.1（異動履歴の管理）に規定する項目を用いて住民の異動履歴を照会できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010092	2　検索・照会・操作	2.2　照会	2.2.1　異動履歴照会	同一住民（再転入者等）を単位として複数の住民票・住民票の除票にわたって履歴を照会できること。その際、宛名番号による照会又は氏名、生年月日、性別及び住所（以下「4情報」という。）による照会のいずれにも対応できること。	○	○	○	―
0010093	2　検索・照会・操作	2.2　照会	2.2.2　交付履歴照会	個人を特定した後に、1.3.8（交付履歴の管理）に規定する証明書の交付履歴（20.1.1（住民票の写し）、20.1.3（住民票の写し（世帯連記式））、20.1.4（住民票の除票の写し）、20.1.2（住民票記載事項証明書・住民票除票記載事項証明書）、20.3.2（転出証明書）、20.3.3（転出証明書に準ずる証明書）、20.4.1（住民票コード通知票）、20.4.2（住民票コード変更通知票）及び20.4.3（住民票コード修正通知票）に関するもの）について、照会できること。 なお、照会に当たっては、1.3.8（交付履歴の管理）に規定する項目から行えること。 また、コンビニで交付された場合や広域交付住民票の場合も同様に照会できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010094	2　検索・照会・操作	2.2　照会	2.2.3　文字コード照会等	漢字文字の入力・照会については、拡大して入力・照会ができるとともに、文字コードの照会ができること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010529	2　検索・照会・操作	2.2　照会	2.2.3　文字コード照会等	転出証明書における二次元コードを読み取り、そこから得られた行政事務標準文字図形名から文字の照会ができること。	○	○	○	―
0010095	2　検索・照会・操作	2.2　照会	2.2.4　支援措置対象者照会	照会した支援措置対象者（併せて支援を求める者を含む。）の住民票データを確認する場合において、支援措置期間中又は仮支援措置期間中である旨が明示的に確認でき、1.1.16（支援措置対象者管理）の支援措置のデータベースに連携して、当該データベースの支援措置対象者の詳細情報が確認できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010096	2　検索・照会・操作	2.3　操作	2.3.1　処理画面	異動処理中の画面では、該当する異動処理名称（「全部転入、一部転入、全部転出、一部転出、全全転居、全一転居、一全転居、一一転居」のように詳細に記載するか、「転入、転出、転居」のように簡易に記載するかは規定しない。）が表示されること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010097	2　検索・照会・操作	2.3　操作	2.3.2　キーボードのみの画面操作	端末のセキュリティを確保しながら、キーボードのみでも画面操作ができること。	○	○	○	―
0010098	3　抑止設定	3.1　異動・発行・照会抑止	―	支援措置対象者に対する抑止、排他制御（10.3（操作権限管理）参照）、その他の抑止を管理できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010099	3　抑止設定	3.1　異動・発行・照会抑止	―	各抑止機能について、異動入力、証明書発行、照会等の処理ごとに、個人及び世帯単位で、抑止の開始日及び終了日設定ができること。 抑止の終了日を経過しても、抑止は自動的に終了しないこと。	◎	◎	◎	令和8年4月1日